

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項

計画コード	22099	事業名	移住交流促進事業			
事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()					
施策体系	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化		予算科目	会計	01:一般会計
	基本施策	03:移住・定住の促進			款	02:総務費
	施策の方向	03:移住交流の促進			項	01:総務管理費
	重点プロジェクト	-			目	07:企画費
事業期間	H 28 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等	-		

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	政策部
課	政策推進課 政策調整G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	東京圏への人口一極集中の是正に向け、全国的に地方移住を促進する取り組みが進められる中、本市においても持続可能なまちづくりに向けた人口維持のため、移住関連施策を推進している。コロナ禍において地方移住の機運が高まる中で、本市への人の流れを一層創出していく必要がある。	移住希望者	仕事や住まいなど、移住希望者のニーズに合わせた情報提供やきめ細やかな相談対応、本市の魅力に触れる機会の創出等を通じて、移住を促進するとともに、関係人口の創出を図る。	定住支援員や首都圏等へ移住促進アドバイザーを設置し、移住に関するワンストップ窓口を設置する。また、移住に関する「仕事」「住居」を中心とした相談体制や移住体験などの機会を設けるとともに、移住者間の交流ネットワークを構築する。

③事業の実施状況（P・D）

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
事業計画		○相談体制の充実 ○移住相談会・体験会の実施 ○移住者間の交流ネットワークの構築 ○移住就業マッチング支援事業		○相談体制の充実 ○移住相談会・体験会の実施 ○移住者間の交流ネットワークの構築 ○移住就業マッチング支援事業		○相談体制の充実 ○移住相談会・体験会の実施 ○移住者間の交流ネットワークの構築 ○移住就業マッチング支援事業		○相談体制の充実 ○移住相談会・体験会の実施 ○移住者間の交流ネットワークの構築 ○移住就業マッチング支援事業		
活動実績 (計画通り実施できたか)		移住相談窓口への定住支援員の配置や首都圏在住者の移住・交流促進アドバイザーへの登録等、窓口及び相談体制の充実を図った。また、本市での生活をイメージできるよう希望者への市内案内や親子体験ツアーを実施し、その様子をHP等に掲載した。定住支援員を中心に移住者との関係づくりを行ったが移住者間のネットワークの構築には至らなかった。マッチング支援の申請実績は無かった。		移住相談窓口に定住支援員を配置するとともに、首都圏等在住者3名を移住・交流促進アドバイザーとして登録し、相談体制の充実と情報発信の強化を図った。また、移住希望者に市内案内を実施するとともに、関係人口創出に向けたワークショップや移住者間のネットワーク構築に向けた移住者交流会を開催した。さらに、移住就業マッチング支援事業において移住支援金を1件交付した。		移住相談窓口に定住支援員を配置するとともに、首都圏等在住者4名を移住・交流促進アドバイザーとして登録し、相談体制の充実と情報発信の強化を図った。また、移住希望者への市内案内や関宿での出張移住相談を実施したほか、昨年度に続き、関係人口創出のワークショップや移住者交流会を開催した。なお、移住支援金は、相談はあったものの交付申請には至らなかった。		移住相談窓口に定住支援員を配置するとともに、首都圏等在住者3名を移住・交流促進アドバイザーとして登録し、相談体制の充実と情報発信を強化した。また、移住希望者への市内案内や関宿での出張移住相談を実施したほか、昨年度に続き、関係人口創出のワークショップや移住者交流会を開催した。さらに、移住就業マッチング支援事業において移住支援金を1件交付した。		
計画額	事業費	事業費	6,000千円	5,060千円	8,000千円	8,380千円	8,000千円	7,298千円	8,000千円	7,494千円
		国・県支出金	750千円	750千円	2,250千円	2,250千円	2,250千円	1,500千円	2,250千円	750千円
		地方債						0千円		0千円
		その他						0千円		0千円
		一般財源	5,250千円	4,310千円	5,750千円	6,130千円	5,750千円	5,798千円	5,750千円	6,744千円
決算額	事業費	事業費		3,868千円		6,622千円		4,035千円		6,226千円
		国・県支出金		0千円		1,500千円		0千円		750千円
		地方債		0千円		0千円		0千円		0千円
		その他		0千円		0千円		0千円		0千円
		一般財源		3,868千円		5,122千円		4,035千円		5,476千円
①期間内計画額(R4-7)		30,000千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		30,000千円

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	7,494千円
次年度への繰越額	0千円

⑤ 成果（Ｃ）	判定	事業実施により得られた成果（誰に（何に）対してどのような効果があったか	（再掲）	事業の対象	事業の目的
	B	東京・大阪・名古屋での移住フェア参加や、定住支援員をはじめ、移住・交流促進アドバイザーによるインスタグラムの継続的な情報発信等により、本市の魅力に触れる機会が増加し、フェア等での相談件数は増加した。一方、移住先の選択肢が多様化する中で移住件数の増加には至らなかった。また、「DOMAプロジェクト」では活動3年目として、関宿祇園夏まつりへの参加等を通じて地域との交流を進め、関係人口の定着につながった。		移住希望者	仕事や住まいなど、移住希望者のニーズに合わせた情報提供やきめ細やかな相談対応、本市の魅力に触れる機会の創出等を通じて、移住を促進するとともに、関係人口の創出を図る。
	まずまず成果を得た				

⑦事業の展開（A）	方向性	
	継続（現状維持）	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する（した）もの	令和9年度以降で対応するもの
	定住支援員、移住・交流促進アドバイザーによる情報発信及び都市圏における移住フェア等への参加を継続し、本市の魅力に触れる機会を創出する。また、DOMAプロジェクトについては、関係人口の創出・定着に向けた取り組みを継続する。	移住交流イベントへの積極的な参加及びDOMAプロジェクトによる関係者のつながりを生かした活動の展開を図る。

事業の対象	事業の目的
移住希望者	仕事や住まいなど、移住希望者のニーズに合わせた情報提供やきめ細やかな相談対応、本市の魅力に触れる機会の創出等を通じて、移住を促進するとともに、関係人口の創出を図る。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	B	B	B
事業展開	継続(拡大)	継続(拡大)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	政策部 政策推進課 政策調整GL 五由出 諭
最終評価者	政策部 政策推進課長 服部 任之